

## &lt;注意事項&gt;

- 解答を出すために必要な式等は、すべて記載すること。
- 解答欄が足りない場合は、裏に続きを記入してもよい。
- ただし、表面の解答欄に「裏面に続く」と明記すること。

1  $x = \frac{\sqrt{3} + \sqrt{5}}{\sqrt{3} - \sqrt{5}}, y = \frac{\sqrt{3} - \sqrt{5}}{\sqrt{3} + \sqrt{5}}$  のとき、次の値を求めなさい。

(1)  $x + y$

$$\begin{aligned} x+y &= \frac{\sqrt{3} + \sqrt{5}}{\sqrt{3} - \sqrt{5}} + \frac{\sqrt{3} - \sqrt{5}}{\sqrt{3} + \sqrt{5}} \\ &= \frac{(\sqrt{3} + \sqrt{5})^2 + (\sqrt{3} - \sqrt{5})^2}{(\sqrt{3} - \sqrt{5})(\sqrt{3} + \sqrt{5})} \\ &= -8 \end{aligned}$$

(2)  $x^2y + xy^2 + 3xy$

$$\begin{aligned} x^2y + xy^2 + 3xy &= xy(x + y + 3) \\ &= xy(x + y + 3) \\ &= 1(-8 + 3) \\ &= -5 \end{aligned}$$

また、(1) より  $x + y = -8$  なので

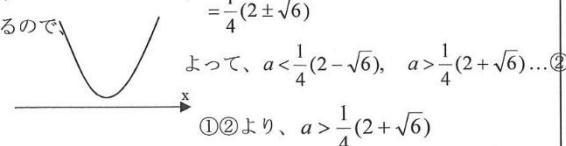
2 すべての実数  $x$  に対して、不等式  $ax^2 + (2a-1)x + 3a - 3 > 0$  が成り立つような定数  $a$  の値の範囲を求めなさい。

$f(x) = ax^2 + (2a-1)x + 3a - 3$  とおく。

$y = f(x)$  のグラフが  $x$  軸よりも常に上側にあるような条件を求めるべよ。

(i)  $a=0$  の場合、 $f(x) = -x - 3$  となり、一次関数になるので、条件は成立しない。

(ii)  $a \neq 0$  の場合、  
 $a > 0$  のとき  $y = f(x)$  のグラフは下に凸となり  
 $a < 0$  のとき  $y = f(x)$  のグラフは上に凸となるので  
右図のようになるための条件は  $a > 0$  …①  
また、判別式を  $D$  とすると  $D < 0$  である



受験 番号	
----------	--

3 次の各問に答えなさい。

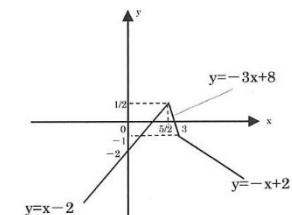
(1)  $y = |x-3| - |2x-5|$  のグラフを描きなさい。

(i)  $x \geq 3$  のとき  $y = x-3-(2x-5)$  よって  $y = -x+2$

(ii)  $\frac{5}{2} \leq x < 3$  のとき  $y = -(x-3)-(2x-5)$  よって  $y = -3x+8$

(iii)  $x < \frac{5}{2}$  のとき  $y = -(x-3)-\{(2x-5)\}$  よって  $y = x-2$

ゆえに、グラフは右図のようになる。



(2) 方程式  $|x-3| - |2x-5| = -2$  を解きなさい。

(i)  $x \geq 3$  のとき、 $x-3-(2x-5) = -2$

これを解くと  $x = 4$

(ii)  $\frac{5}{2} \leq x < 3$  のとき、 $-(x-3)-(2x-5) = -2$

これを解くと  $x = \frac{10}{3}$   $\frac{5}{2} \leq x < 3$  なので解なし

(iii)  $x < \frac{5}{2}$  のとき、 $-(x-3)-\{(2x-5)\} = -2$

これを解くと  $x = 0$  以上から、求める解は  $x = 0, 4$

※(1)で描いたグラフと  $y = -2$  との交点を求めても OK

4 関数  $y = -\sin^2 \theta + 2 \cos \theta - \frac{1}{2}$  …① について、次の各問に答えなさい。ただし、 $0^\circ \leq \theta \leq 90^\circ$  とする。

(1)  $\cos \theta = t$  とおくとき、関数①を  $t$  を用いて表しなさい。

$$\begin{aligned} y &= -\sin^2 \theta + 2 \cos \theta - \frac{1}{2} \\ &= -(1 - \cos^2 \theta) + 2 \cos \theta - \frac{1}{2} \\ &= \cos^2 \theta + 2 \cos \theta - \frac{3}{2} \end{aligned}$$

$\cos \theta = t$  とおくと  
 $y = t^2 + 2t - \frac{3}{2}$

(2) 関数①の最大値と最小値を求めなさい。また、そのときの  $\theta$  の値を求めなさい。

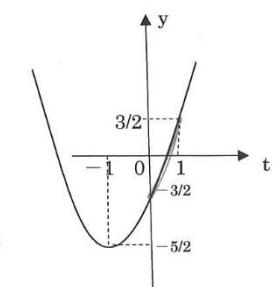
$$\begin{aligned} (1) \text{ より } y &= t^2 + 2t - \frac{3}{2} \\ &= (t+1)^2 - \frac{5}{2} \end{aligned}$$

グラフは右図のようになる。

また、 $0^\circ \leq \theta \leq 90^\circ$  より  $0 \leq t \leq 1$  であるので

$t = 1$  のとき、最大値  $\frac{3}{2}$ 、またこのときの  $\theta$  の値は  $\cos \theta = 1$  より  $\theta = 0^\circ$

$t = 0$  のとき、最小値  $-\frac{3}{2}$ 、またこのときの  $\theta$  の値は  $\cos \theta = 0$  より  $\theta = 90^\circ$



## 【出題意図】

・①について

整式の整理についての理解を問う

・②について

判別式についての理解を問う

・③について

絶対値についての理解を問う

・④について

三角関数についての理解を問う